

学友会だより 7月号

(ネットで見ると作品の素晴らしさに触れることができます。)

作品集

今回は3名の方から楽器演奏の投稿をして頂きました。
始められたきっかけはそれぞれですが楽器に対する熱意は一緒です。どうぞ演奏風景をご覧になりながら思いを受け取ってください。

○ 「音」を通して人生を謳歌

大谷 忠男 (10期)

○ アルプホルンと私

野口 正夫 (14期)

○ ライブ人生

黛 克己 (22期)

「音」を通して人生を謳歌



今は趣味でアルトサックスを吹いていますが、過去に色々な演奏をしました。

学友会では「新そば賞味会」の演奏や、正風館の公民館まつり「ランチタイムロビーコンサート」にて30分間演奏し、妻と娘や様々な人々が喜んでくれたコンサートとなりました。

今年の5月に京都において、高校同窓会の宴会場で4年ぶりにサックスの演奏を再開し、最後に校歌を吹いてみんなで合唱となり会場が大いに盛り上がったのは楽しいひとときでした。

老いにより楽譜や音符が二重に見えることが多くなりましたが、残された人生「音」を通して謳歌したいと思っています。

亡き妻には、まだまだ早いから呼ぶなと言っています。これからたくさんの演奏をして妻に報告できるよう精進したいと想っております。

アルプホルンと私



アルプホルンはスイス発祥の楽器で、木で作られています。マウスピースを使うので金管楽器に分類されます。抑える指孔はなく唇だけで音をさがします。

アルプホルンとの出会いは突然でした。2016年の市民大学学友会の新年会の時、突然市民大学4期卒業の塚田さんから「アルプホルンをやらないか」と誘われました。今まで楽器と言えば学校の音楽の時間のハーモニカやリコーダーとギターをほんのちょっとやった位で、最初は断りましたが熱心に誘われ一緒にやることになりました。

コロナ禍前までは市民大学卒業生4人でやっていましたが、コロナ禍で練習場所が使えなくなり二人が辞めてしまい、その後、私の中学時代の同級生の原田さんを誘い仲間になってもらいました。彼は学生時代にブラスバンド部に入っていました。

今は毎週水曜日に2時間ほど一緒に練習しています。一緒にアルプホルンをやってくれる方を募集しております。どなたか興味のある方いらっしゃいませんか？

ライブ人生



学生時代からライブ活動を開始し、会社生活との2足のワラジを卒業してからは、さらに活動を本格化させています。

昨年は春日部市の後援で、春日部で初めて自身の企画制作によるアマチュアの音楽祭を開催しました。

土浦のライブハウス、サケクラすのっぶではインターネット生配信ライブをしています。毎月レギュラーで出演しています。

今年は6/17の市川のライブハウス、アルマナックハウスでは4組のアーティストが出演し私はオリジナル曲を40分程演奏しました。

そして6/25には講師をしている春日部の音楽スクールにて行った店内ライブに市民大学の皆さんが沢山観覧に来ていただきました。